

令和4年度 第2回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

観光系路線バスを対象とした コンタクトレス決済導入に係わる実証

令和5年2月1日

1. 昨年度の取組内容

- ❖ウィズコロナ・アフターコロナの新たな生活様式への対応及びインバウンド需要回復を見据え、観光系路線バスにおいて、コンタクトレス決済（非接触型）の導入に関する実証実験を令和4年2月1日から3月24日の間に実施した。
⇒本委員会の開催日にて民間による自走期間もあわせて、1年の実証となる。
- ❖対象5社に計30台の端末を設置し、Visaのタッチ決済、QRコード決済の利用を可能とした。

▼昨年度の取組の概要(対象とした観光系路線バス、周知資料等)

会社名	対象路線	決済手段	決済端末
沖縄エアポートシャトル	・リゾートライナー ・エアポートライナー	・Visaのタッチ決済	7台
沖縄バス（リムジンバス）	・空港リムジンバス（全路線） ※空港リムジンバスの沖縄バス販売所窓口を設置	・Visaのタッチ決済	4台
カーリー観光	・北谷ライナー ・パルコシティシャトルバス ・瀬長島ライナー ※豊崎ライナー、美ら海ライナーは運休により未実施	・Visaのタッチ決済 ・QRコード決済	3台
東京バス	・ハーレーエクスプレス ・ウミカジライナー	・Visaのタッチ決済 ・QRコード決済	8台
やんばる急行バス	・空港線（那覇空港～運天港） ・四島線（瀬底島～古宇利島）	・Visaのタッチ決済	8台
合 計			30台

公共交通で快適な沖縄観光を

クレジットカード等のコンタクトレス決済の導入でますます便利に!

沖縄県では、観光客の皆様へ安心、快適にバスをご利用いただくため、令和4年2月1日から3月24日まで観光客の利用が多い那覇空港を発着又は経由する一部路線バスにおいてコンタクトレス決済の実証導入に取り組んでいます。

導入される決済の種類 **Visaのタッチ決済、各種QRコード(二次元コード)決済**

※その他、ご利用可能な決済方法は事業者ごとに異なります。詳しくは以下をご覧ください。

対象となるバス会社	導入される決済の種類
沖縄エアポートシャトル有限責任事業組合（リゾートライナー、エアポートライナー）	現金、Visaのタッチ決済、QR決済 （楽天Edy、Alipay、WeChat Pay）が利用可能 また、Webサイト（乗車予約）で事前決済が可能
沖縄バス株式会社（空港リムジンバスの沖縄バス販売所窓口）	現金、Visaのタッチ決済、QR決済 また、Webサイト（乗車予約）で事前決済が可能
有限会社カーリー観光（北谷ライナー、瀬長島ライナー、パルコシティシャトルバス）	現金、Visaのタッチ決済、QR決済 （Alipay、PayPay、J-Coin Pay）が利用可能
東京バス株式会社（ハーレーエクスプレス、ウミカジライナー）	現金、Visaのタッチ決済、QR決済（Alipay、PayPay）が利用可能
合同会社やんばる急行バス（空港線、四島線）	現金、クレジットカード、電子マネー（楽天Edy、WAGN、nanaco、ID等）、QUICPayが利用可能 また、Webサイト（WILLER TRAVEL）で事前決済が可能

※合同会社やんばる急行バスでは、2020年よりVisaのタッチ決済に対応済みです。
※一部の路線、便ではご利用いただけない場合もあります。

ご利用方法例

バスの運賃箱付近や乗降窓口の設置されている専用機器に、Visaのタッチ決済に対応したカードをかざしていただくことで運賃を支払うことができます。

このマークのあるVisaカードで運賃の支払いが可能です。

画面のマークにカードをかざしてください。

詳細はこちらよりご確認ください。
▶プレスリリース資料(PDF)

Googleマップや乗換検索サイト等で公共交通による観光地へのアクセス方法を確認できます!

沖縄県内の公共交通の運行情報をGoogleマップに提供するとともに、その他の乗換検索サイトやアプリの情報提供を進めています。

普段とは違うスピードで地元の人との触れ合いがある

レンタカーを使えない方や外国人も安心して移動できる

観光スポットの情報とアクセスが分かりやすい

車窓からの風景やお洒落な旅が気軽にできる

取り組みについて

沖縄県では、観光客の公共交通の利用促進に向けた取り組みとして、公共交通と観光情報のオープンデータ化を進めています。沖縄県の公共交通情報をGoogleマップに提供し、検索できるようになりました。今後も引き続き沖縄県全域のより充実した受入環境の構築に向けて取り組みます。

沖縄県観光系公共交通ポータルサイト

公共交通を利用した沖縄観光のモデルコース

沖縄県観光系公共交通ポータルサイト

文化観光系オープン観光情報連携

本取組全館に関することは、観光2次交通オープンデータ整備事業実施事務局(株式会社オリエンタルコンサルタンツ)[Email:oki_2k@orientalconsult.com]までお問い合わせください。また、交通情報に関するお問い合わせは、各交通事業者へお問い合わせください。



ご利用いただけます

クレジットカード
(Visaのタッチ決済のみ可能)

QRコード

VISA

PayPay

Alipay

沖縄県では、観光客の公共交通の利用促進に向けた取り組みとして、令和4年2月1日～3月24日まで、クレジットカード等のコンタクトレス決済導入による実証実験を実施。



【参考①:導入した端末機器による決済手順】

- ・最低限の操作回数で決済が完了し利用者が使いやすいUI。利用者自身の操作となるよう設計し、運転手の負担を軽減を図っている。
- ・操作説明についてはインバウンド（英語、繁体字、簡体字、韓国語）にも対応。

①スタート画面

【乗車時に運賃をお支払いする場合】
・降車バス停を選択してください。

【降車時に運賃をお支払いする場合】
・乗車バス停を選択してください。



②ご利用人数の選択

・次に、ご利用になる人数を、画面の「+」「-」ボタンで選択してください。（初期状態は「大人1名」選択済です）

・ご利用人数・支払い合計額を確認し、画面右下の「支払い」ボタンをタップしてください。



③決済方法選択画面

・決済方法のボタンをタップしてください。

・Visaのタッチ決済の場合には、「クレジットカード決済（タッチ決済）」をタップしてください。



④決済媒体の読取画面

【Visaのタッチ決済の場合】

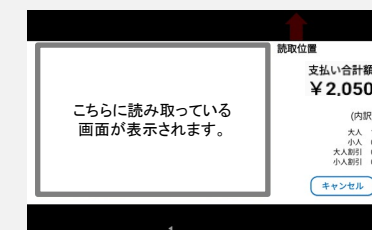
・画面が表示されましたら、タッチ対応のクレジットカードを画面上のマークにタッチして完了です。

【QRコード決済の場合】

・画面が表示されましたら、「読取位置」にQRコードをかざして完了です。



【Visaのタッチ決済の場合】



【QRコード決済の場合】

2. 今年度の取組内容

❖昨年度の取組結果を踏まえ今年度の実証は、沖縄バス（空港リムジンバス）、カーリー観光、東京バスの3事業者を対象に、端末台数を拡充し、実証を継続。（令和5年3月までの実証を予定）。

⇒沖縄バスは昨年度は窓口での設置だったが今年度は空港リムジンバス車内にて設置。

❖対象となる3事業者については課題把握、効果検証を行い、次年度以降の自走・継続につなげるものとする。

▼今年度の実証予定事業者、対象路線、決済手段、端末台数

会社名	対象路線	決済手段	決済端末
沖縄バス（リムジンバス）	・ 空港リムジンバス（全路線）	・ Visa のタッチ決済	14台
カーリー観光	・ 北谷ライナー ・ パルコシティシャトルバス ・ 瀬長島ライナー ・ 美ら海ライナー	・ Visa のタッチ決済 ・ QRコード決済	6台
東京バス	・ 琉球ホテルエアポートリムジン ・ ハーレーエクスプレス ・ ウミカジライナー	・ Visa のタッチ決済 ・ QRコード決済	14台
合 計			34台

❖以下については、外部要因に起因する内容も含まれるが、実証期間中に対応できるよう検討・実施を進めている。

- ①**効果検証**：利用実績の把握、利用者アンケート等を実施する。
- ②**課題の洗い出しと改善**：各バス会社から上がっている課題（決済の反応速度向上等）について、端末メーカー（小田原機器）と協議をしつつ適時対応・改善を進める。
- ③**インバウンド対応**：インバウンドについては、動向を踏まえつつ、対応準備を進める（決済端末自体は多言語対応済みであるが、端末の操作方法についての多言語補足資料の検討や周知・案内資料の作成等）。
- ④**決済ブランドの多様化**：クレジットカードの決済手段について、JCBのタッチ決済にも対応できるよう調整を進める。
- ⑤**自走化に向けた調整**：実証後の自走化について、ランニングコスト、メンテナンス体制等、端末メーカー、バス会社と協議・調整を行う。

3. 今年度の取組の進捗

(1) 周知広報

❖本取組の周知のため、車内・バス停による告知、リーフレットの配布、空港におけるデジタルサイネージの告知を実施。



昨年度作成した告知ツール

クレジットカード等のコンタクトレス決済の導入ですます便利に!

沖縄県では、観光客の皆様へ安心、快適にバスをご利用いただくため、令和4年2月1日から観光客の利用が多い那覇空港を発着又は経由する一部路線バスにおいて、コンタクトレス決済の実証導入に取り組んでいます。

Visaのタッチ決済、各種QRコード（二次元コード）決済できるバスが増えています!

※ご利用可能な決済方法は事業者ごとに異なります。詳しくは以下をご確認ください。

沖縄エアポートシャトル有限責任事業組合 (リゾートライナー、エアポートライナー)	現金、QR決済(楽天ペイ、Alipay、WeChatペイ) ※ Webサイト(事前予約サイトなど)で事前決済が可能
沖縄バス株式会社 (空港リムジンバス)	現金(販売窓口のみ)、Visaのタッチ決済 ※ Webサイト(乗車オンラインネットなど)やスマホアプリ(ジョルダンモバイルチケットなど)で事前決済が可能
有限会社カー観光 (北谷ライナー、瀬長島ライナー、バルコシティシャトルバス、美ら海ライナー)	現金、Visaのタッチ決済、QR決済(Alipay、PayPay、J-Coin Pay)
東京バス株式会社(沖縄営業所) (ハーレーエクスプレス、ウミカジライナー、琉球ホテルエアポートリムジン)	現金、Visaのタッチ決済、QR決済(Alipay、PayPay) ※ スマホアプリ(ジョルダンモバイルチケットなど)で事前決済が可能
合同会社やんばる急行バス (空港線、四島線)	現金、クレジットカード、電子マネー(楽天Edy、WAON、nanaco、iD、QUICPay、PayPay、au PAY など) ※ Webサイト(WILLER TRAVELなど)やスマホアプリ(ジョルダンモバイルチケットなど)で事前決済が可能

※合同会社やんばる急行バスでは、2020年よりVisaのタッチ決済に対応済みです。
※一部の路線、便ではご利用いただけない場合もあります。

沖縄全域の公共交通の運行情報をGoogleマップに提供するとともに、その他の乗換検索サイトやアプリへの情報提供を進めています。

普段とは違うスピードで地元の人との触れ合いがある

レンタカーを使えない方や外国人も安心して移動できる

車窓からの風景やお酒を楽しむ旅が気軽にできる

観光スポットの情報とアクセスが分かりやすい

取り組みの詳細は下記ウェブサイトからご確認ください

沖縄県観光2次交通ポータルサイト

QRコード

取り組みについて

沖縄県では、観光2次交通の利便性向上に向けた取り組みとして、公共交通と観光情報のオープンデータ化を進めています。沖縄県の公共交通情報をGoogleマップに提供し、検索できるようになりました。今後も引き続き沖縄県全県のより充実した受入環境の構築に向けて取り組みます。

1. Tap
Open the Google Maps app.

2. Search
Search on Google Maps.

3. Go

Let's enjoy a relaxing Island trip!!

Google マップは Google LLC の商標です。



クレジットカード等のコンタクトレス決済の導入ですます便利に!

Visaのタッチ決済、各種QRコード（二次元コード）決済できるバスが増えています!

沖縄県では、観光客の利用が多い那覇空港を発着又は経由する一部路線バスにおいて、コンタクトレス決済の実証導入に取り組んでいます。

路線や決済方法など、詳しくはウェブサイトをチェック!

沖縄県 文化観光スポーツ部観光振興課

沖縄県観光2次交通ポータルサイト <https://okin2k.jp/>

QRコード

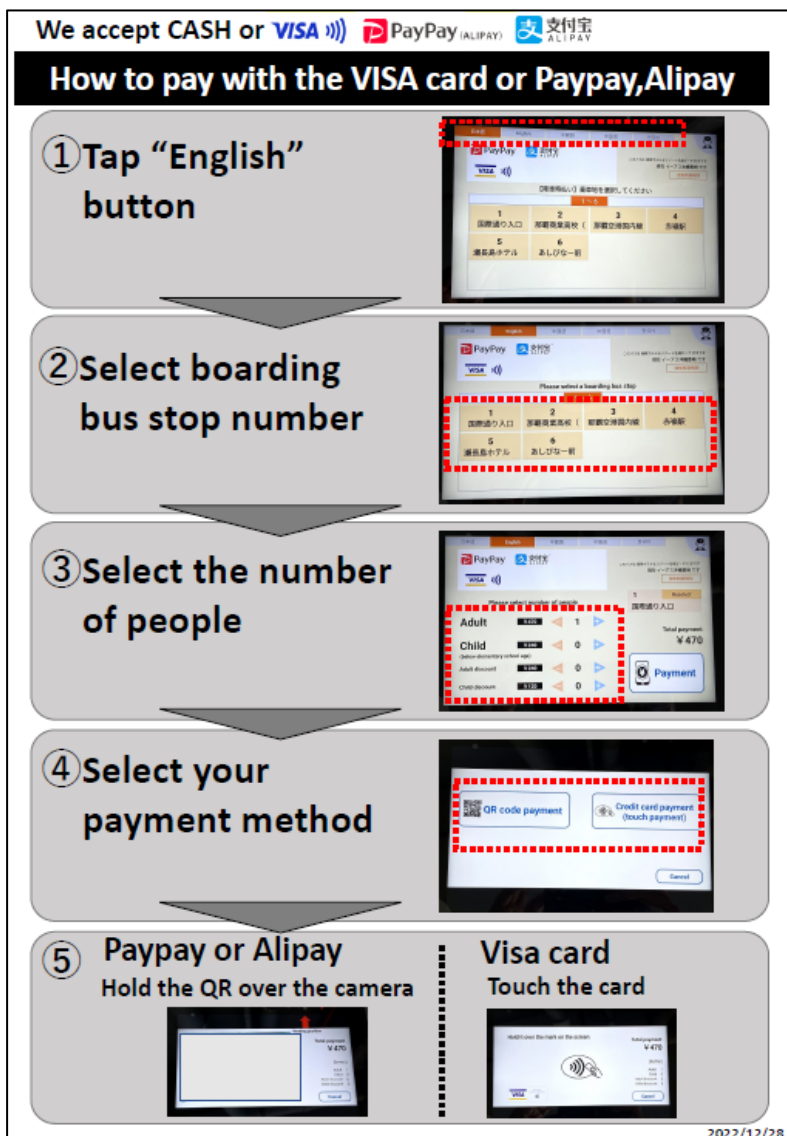
那覇空港におけるサイネージでの告知

告知リーフレット

3. 今年度の取組の進捗

(2) インバウンド対応

❖外国人利用者の受け入れに向けて、インバウンド向けの指差し会話帳やタッチ決済の案内ツールを作成。



インバウンド向けの指差し会話ツール



英語翻訳したタッチ決済の案内



「5秒お待ちください」のポップ

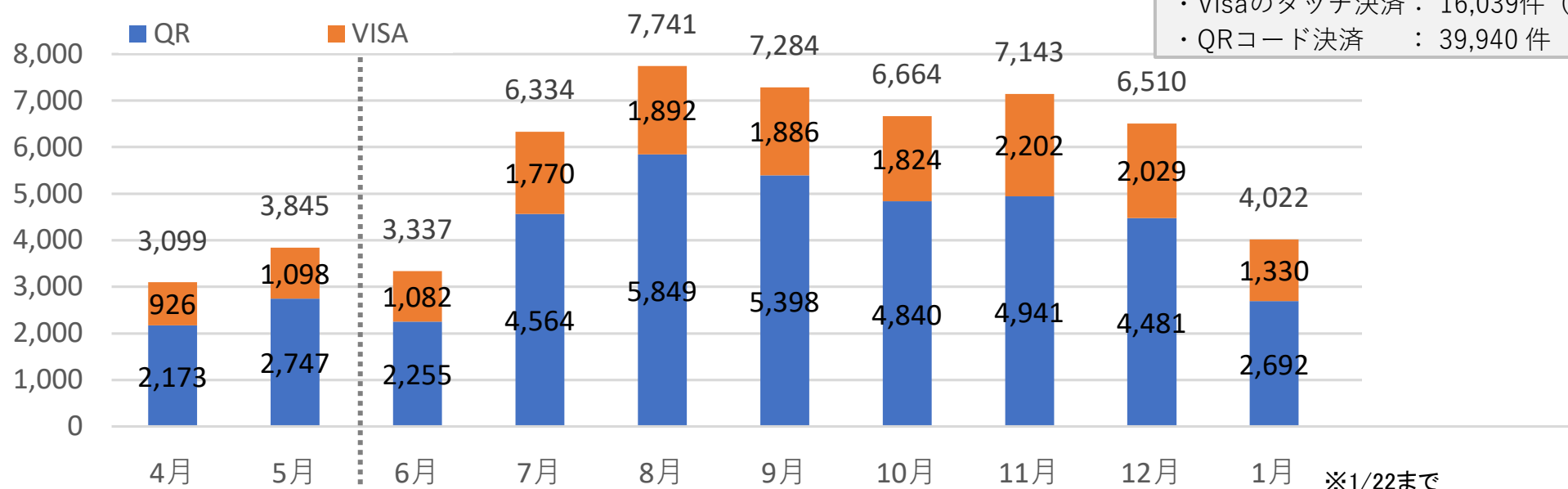
3. 今年度の取組の進捗

(3) 利用状況

- ❖ 今年度の実証は6月より開始。（昨年度の実証終了後から今年度の実証開始までの間は民間ベースの取組として継続）
- ❖ 東京バス、カーリー観光については台数を拡充、沖縄バスは窓口設置から車両への設置に変更のうえ実施を継続。
 ※東京バスは7月23日より全台数（14台）設置を行い運用を開始。カーリー観光は11月、沖縄バスは10月より拡大設置。
 ※カーリー観光、沖縄バスについては10月初旬での追加。
- ❖ 4月1日から1月22日までの利用件数は55,979件（うち29%がVisaのタッチ決済、71%がQRコード決済）
- ❖ 11月以降はインバウンドの回復もありAlipayの利用も確認されはじめています。

利用件数：計55,979件

- ・ Visaのタッチ決済：16,039件（29%）
- ・ QRコード決済：39,940件（71%）



【東京バス】

昨年度の取組を踏襲し実施（11台設置）

設置拡大（14台）

【カーリー観光】

昨年度の取組を踏襲し実施（3台設置）

設置調整

追加3台を設置（6台）

【沖縄バス】

昨年度の取組を踏襲し実施（窓口4台設置）

設置調整・教育

車両へ設置拡大（14台）

3. 今年度の取組の進捗

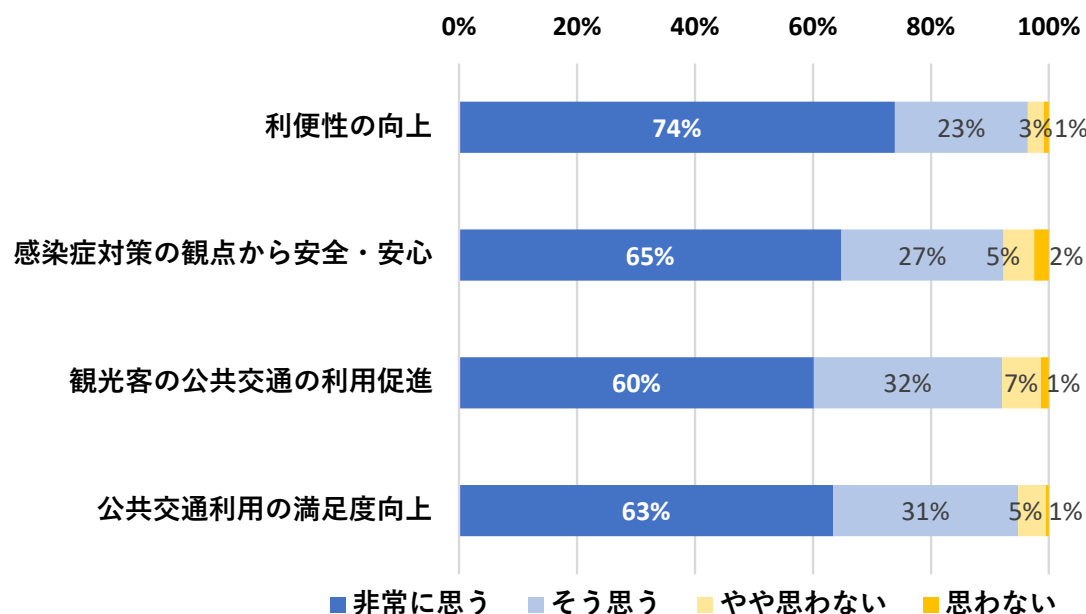
(4) 対象路線の利用者アンケート調査結果

- ❖対象事業者（3社）の利用者を対象として実施しているアンケート調査の結果を以下に示す。
- ❖アンケート調査は対象である3事業者の令和4年4月1日～8月31日の364件を対象としている。

コンタクトレス決済の普及による有効性について、昨年度同様、4つの観点において「非常にそう思う」または「そう思う」の回答がどれも80%以上となっており、バス利用者もコンタクトレス決済に関心があり有効であることがわかる。

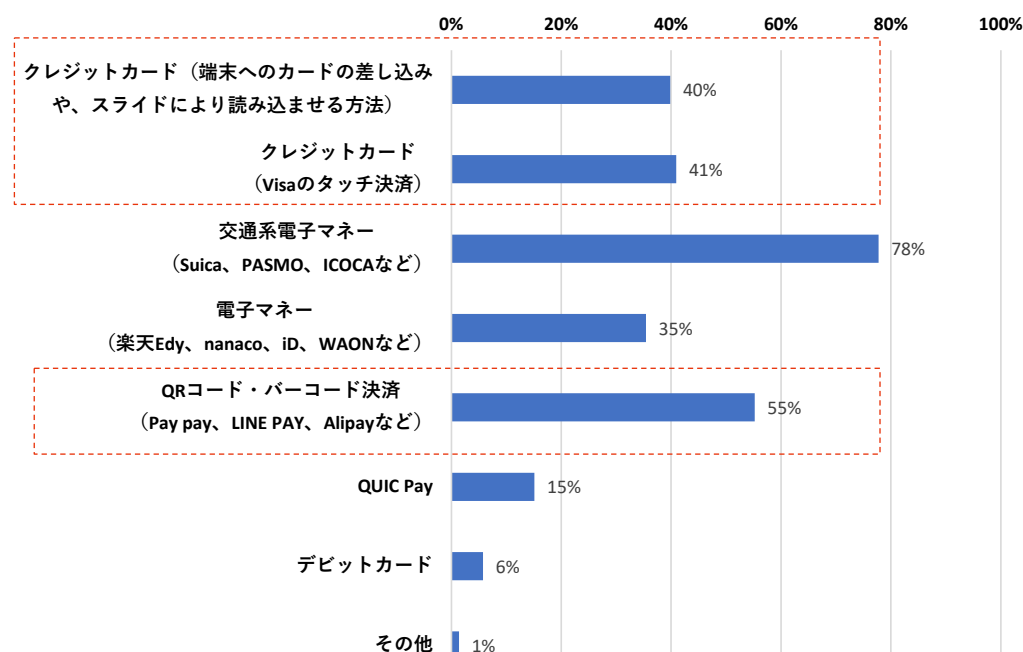
県内の公共交通の導入を進めて欲しい決済方法について、「交通系電子マネー」が78%と最も多く、次いで「QRコード・バーコード決済（55%）」、「クレジットカードによる決済（41%）」となっている。

【コンタクトレス決済の普及による有効性】



n=364

【県内の公共交通の導入を進めて欲しい決済方法】



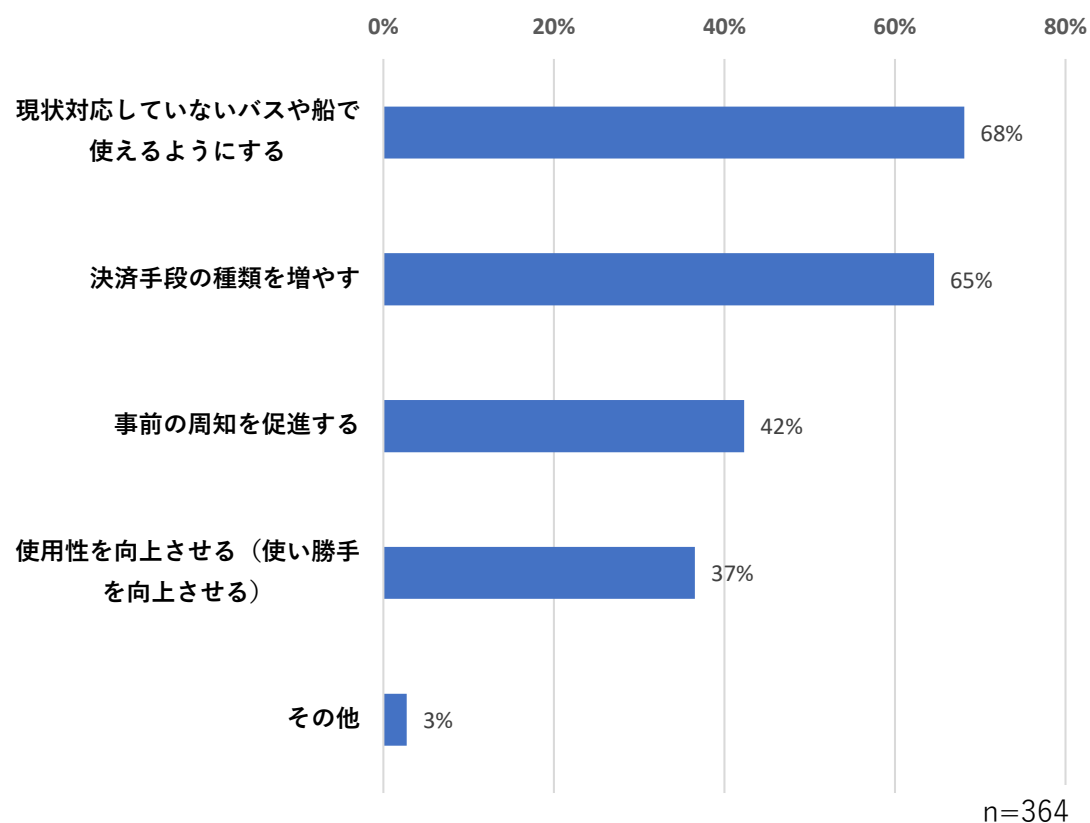
n=364

3. 今年度の取組の進捗

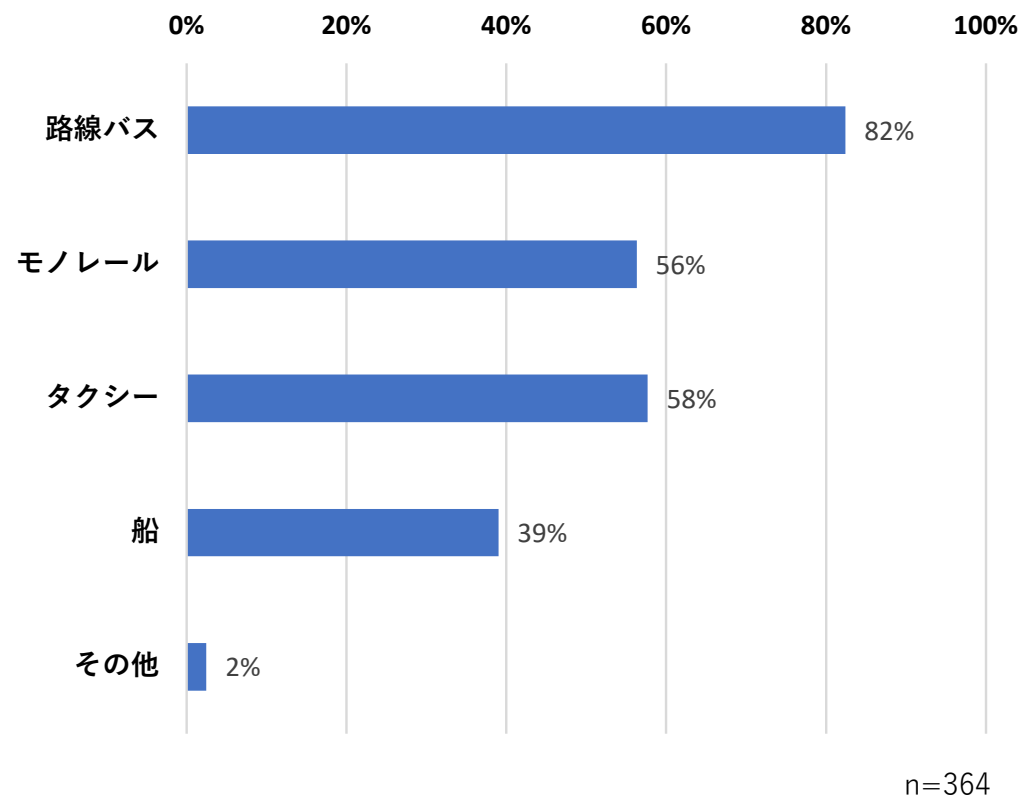
コンタクトレス決済の取組を進めるうえで重要なことについて、「現状対応していないバスや船で使えるようにする」が最も多く68%、ついで「決済手段の種類を増やす」が65%と多い。

コンタクトレス決済を導入して欲しい交通機関について、「路線バス」が82%と最も多く、次いで「タクシー」が58%と多い。（過年度と同様の傾向）

【コンタクトレス決済の取組を進めるうえで重要なこと】



【コンタクトレス決済を導入して欲しい交通機関】



4. 実証を通じて確認した課題と対応方針

- ◆各社にて利用いただいている一方で、本実証に関する課題等をいただいている。
- ◆以下に各バス会社の運行管理者や乗務員の皆様より頂いたご意見とその要因および対応方針を示す。

▼各バス会社よりいただいたご意見と対応方針の抜粋（1/2）

種別	no	各バス会社より頂いたご意見	要因・対応方針
インバウンド対応	1	・ 端末の操作については英語対応しているが、バス停の名称もあわせて英語対応いただきたい。	・ バス事業者の皆様とも協議の上、GTFSデータにてバス停の英語のデータも追加することで対応を検討。
データ更新	2	・ データ更新の手順が複雑。	・ 現在、データ更新についてはシステム開発を進めている状況。
VISAタッチ決済	3	・ VISA以外のJCB、マスターカードの利用客がいるがお断りしている。導入について検討いただきたい。	・ JCBとは導入に向けて協議を進めている状況。マスターカードは見込みが立っていない状況。 ・ VISA以外は使えないようわかりやすいツールを作成しているが効果について確認する。
	4	・ VISAのタッチ決済はタッチしてから早くても5～6秒かかってしまう。 ・ より時間がかかっている場合もある。	・ 決済速度については令和4年11月に1～2秒程度短縮するなど改善を進めてきた。今後も関係者含めて改善を図りたい。 ・ また、無線通信のため通信環境に左右される場合もあるため引き続き要因含め注視したい。

4. 実証を通じて確認した課題と対応方針

▼各バス会社よりいただいたご意見と対応方針の抜粋（2/2）

種別	no	各バス会社より頂いたご意見	要因・対応方針
QR決済	5	・日差しが強いとスマホの画面が反射して読み取れないときがある。	・現場の皆様とも協議しながら、庇の設置等の対応策について検討したい。
	6	・QRを読み込む際にカメラの位置を間違えており読み取りできていない場合がある。	・画面構成やカメラへの誘導マーク等による指示にて改善を図る。
バッテリーなど	7	・バッテリーの持ち時間が短い個体がある。 ・1日もたないため常時充電している。	・バッテリーの劣化については個体差があると想定されるため把握のうえメーカーと協議のうえ対応。
	8	・20～30回に1回、画面が落ちる個体がある。	・個体や発生状況を確認のうえ対応したいと考えており、今後、現場とも密に連絡をとり対応したい。
通信環境	9	・那覇空港や一部ホテル（庇のあるエリア）では決済画面への切り替わりが遅い。	・決済画面への切り替わりの遅延については通信環境が要因と想定されるため、那覇空港については関係者と協議のうえ改善を図る。